

下水協発第760号  
平成23年12月19日

各位

東京都千代田区内神田2丁目10番12号  
内神田すいすいビル  
社団法人 日本下水道協会  
理事長 安中徳二  
(公印省略)

**第49回下水道研究発表会  
論文(口頭・ポスター)発表の申込について(案内)**

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会の業務に対しまして、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本会では、別紙のとおり、平成24年7月24日(火)～26日(木)の3日間、神戸国際会議場において、特別講演、パネルディスカッション、口頭発表セッション、ポスター発表セッション等を内容とする、「第49回下水道研究発表会」を開催致します。

本発表会は、昭和39年から毎年開催している下水道界で最大の研究発表会であり、国、地方公共団体、研究機関、民間企業等の研究者、実務者が、下水道に関連する技術や下水道経営などに関する日頃の研究成果や実務事例を発表し、相互に情報交換、交流を図ることで、下水道事業の発展並びに下水道技術の進歩・向上を図ることを目的としています。

前回の発表会(平成23年7月)では、317件(韓国語、中国語、英語含む)の口頭やポスター発表のもと、1,500人を越える聴講者との間で熱心な質疑応答、情報交換がされました。

**今回は、東日本大震災に関連した特定課題セッションを設け、当該セッションへの発表者については発表料を無料とすることとしているほか、新たに、発表者等の情報交換の場として交流会の開催等も予定しておりますので、積極的なご参加をお待ちしております。**

詳細は、別紙「第49回下水道研究発表会の発表申込要領」をご参照ください。

なお、貴団体の出先機関等への周知方につきましても併せてお願いいたします。

敬 具

「別紙」

## 第49回下水道研究発表会の論文(口頭・ポスター)発表申込要領

### 1. 下水道研究発表会の目的

本発表会の開催目的は、公共団体や学校、民間の下水道事業に携わる研究者や実務者が、経営・計画、雨水対策、環境・再生・リサイクル、建設、維持管理、水処理技術、汚泥処理技術、計測・制御等の分野における研究成果の発表、実務・事例報告の発表を通して、情報交換し議論することにより、下水道事業の発展に資することを目的に開催するものです。

### 2. 発表の内容

下水道に関する研究成果の発表および実務・事例報告とし、未発表のものとします。発表内容が宣伝的なもの、他者を誹謗中傷するような内容と見なされた場合は発表できません。

発表の可否に関する判断基準は「6. 応募論文の発表可否に関する判断基準」をご覧ください。

なお、発表形式として、「口頭発表」、「ポスター発表」の2種類があります。それぞれの特徴を考慮して選択してください。

### 3. 発表者の資格(申込時)

- (1) 本会会員（会員団体に所属する下水道関係者を含む）
- (2) 関係官庁、同付属研究機関及び大学等の教授等
- (3) (2)に該当する大学等の教授等の教室に所属する学生
- (4) 上記(1)～(3)以外に、下水道の研究等業務に携わっている方

### 4. 開催までのスケジュール

- ・論文・ポスター発表申込期間（論文要旨の提出）  
平成23年12月19日(月)～平成24年2月20日(月)厳守
- ・論文提出期間（ポスター発表の方も講演集に登載するため、論文を提出していただきます）  
平成24年3月5日(月)～4月13日(金)厳守  
**（今年度より、締切を過ぎたものは、一切、受け付けません（その場合も発表料は請求します））**
- ・研究発表会への参加者募集期間（発表者本人については、あらためての申込は不要です）  
平成24年5月21日(月)～7月6日(金)
- ・講演集完成（予定）  
平成24年7月2日(月)
- ・第49回下水道研究発表会開催  
平成24年7月24日(火)～26日(木)

### 5. 第49回下水道研究発表会の概要

- (1) 期日：平成24年7月24日（火）～7月26日（木）の3日間
- (2) 場所：神戸国際会議場  
(神戸市中央区港島中町6-9-1)

(3) 口頭発表セッション

① 発表時間：1編15分（発表10分、質疑応答5分）

② 募集編数：約350編

③ 発表方法：パワーポイントが使えます。発表者等が操作してください。

④ 口頭発表セッションは、「特定課題セッション」と「通常セッション」を設けています。

・「特定課題セッション」は、「通常セッション」の枠を越えた研究や複数のセッションに関連するもの、あるいは話題性のあるキーワードに関するものを集めたセッションです。

・「通常セッション」は、12の部門に分けて募集します。具体的なセッション名は別紙「下水道研究発表会セッション」をご覧ください。

・発表時間、発表方法等は、「特定課題セッション」並びに「通常セッション」とも同じです。

※応募内容等によりお申し込みいただいたセッションは「下水道研究発表会企画運営委員会」にて審査後、変更となる場合もあります。なお、その際は発表者本人にお知らせ致します。

(4) ポスター発表セッション

①発表方法：発表会場（一つの会場）で複数の発表を同時に行い、発表者が製作・持参したポスターを展示・説明し、来場者と自由に討論します。

②発表時間

・ポスター掲示は7月25日（水）～7月26日（木）

・ポスター発表の時間（会場に発表者が必ずいなければならない時間帯）は、7月25日（水）12時30分～14時の1時間30分です。

なお、12時30分～14時は口頭発表セッションを原則として行いませんので、口頭発表とポスター発表の発表時間は重複しません。

③募集編数：約20編

(5) 講演集への掲載について

口頭発表セッション、ポスター発表セッションとも論文を「下水道研究発表会講演集」に掲載いたします。また両セッションとも日本語による発表が原則ですが、英語による発表も可能です。

(6) 優秀発表の表彰

口頭発表セッション、ポスター発表セッションとも、本研究発表会企画運営委員会によって最優秀発表者及び優秀発表者を表彰します。（詳細は「8. 優秀発表の表彰について」をご覧ください。）

(7) 下水道研究発表会交流会の開催

平成24年7月25日（水）17:30～19:00（予定）に、各セッションの座長、発表者、聴講者、下水道研究発表会企画運営委員会委員を対象に、下水道技術等について自由に意見交換を行うための交流会（有料）を開催します。詳細については、今後、告知します。なお、研究発表会の会場周辺での開催を予定しています。

(8) 併催行事

下水道展'12神戸

期 日：平成24年7月24日（火）～27日（金）4日間

場 所：神戸国際展示場（神戸市中央区港島中町6-11-1）

## 6. 応募論文の発表可否に関する判断基準

### (1) 基本的考え方

- ・特定の団体、製品、工法、新技術等を宣伝することを目的とした論文は発表できません。
- ・特定の団体、製品、工法、新技術等を誹謗中傷する内容を含む論文は発表できません。

### (2) 宣伝目的とみなす判断基準

- ・宣伝を目的とした論文とは、特定の団体、製品、工法、新技術等に関して、客観的、合理的な根拠を示すことなく、これらの優秀性、優位性、有効性等について具体名を挙げ論述しているものです。

ただし、以下の場合には発表を認めます。

①特定の団体、製品、工法、新技術等の紹介が目的であっても、これらの優秀性、優位性、有効性等の客観的かつ合理的な根拠を明確に示しており、発表を通じ下水道事業の発展に資するものと認められる場合。

②特定の団体、製品、工法、新技術等の名称を記述しているが、単に論文の主旨をわかりやすく伝えるために用いており、論文の本旨とは直接関係のないもの。

上記①、②に該当した論文については「下水道研究発表会企画運営委員会」にて確認します。

(3) 発表可否の判定は、「下水道研究発表会企画運営委員会」が行います。

## 7. 発表者の留意事項

(1) 申込み編数は口頭発表セッション、ポスター発表セッションを通じ1人1編に限ります。

(2) 特許に係わる発表については、事前に特許申請を済ませてください。

(3) 発表にあたっては、パワーポイントのみ使用ができます。操作は発表者等が行ってください。パソコンおよびプロジェクターは会場に用意してあります。**OHPは使用できません。**

なお、データ作成等詳細については、別途、本協会ホームページでお知らせいたします。

(4) 講演集へ掲載された時点で、論文の著作権は本会に帰属（譲渡）することとなります。なお、投稿された著作者自らが、著作物の全文、または一部を複製・翻訳・翻案などの形で利用する場合、本会は原則として、その利用を妨げません。また、第三者から、著作物の全文又は一部の複製利用（翻訳として利用する場合を含む）の申し込みを受けたときには、特に不適切とみなされる場合を除き、本会は、これを許諾することができることとします。この場合、本会は、著作者に著作物利用の概要を事前に通知します。

## 8. 優秀発表の表彰について

### (1) 口頭発表セッション

優れた内容の発表を行った方を表彰致します。

① 評価項目：発表態度、論文内容が優れているもの。

- ・発表態度が明瞭で分かり易く、質疑応答へ適切に対応している
- ・パワーポイントの仕上がりが良い
- ・研究内容の新規性、有用性、信頼性、完成度が高い

② 表彰方法：後日、表彰式（本会会議室予定）を行います。

### (2) ポスター発表セッション

ポスターとしての表現方法の優秀なものを、次により表彰致します。

① 評価項目：ポスターとして魅力的で、内容の優れている作品

- ・色調、コントラスト（背景色調と図、文、写真等）
- ・明瞭さ、簡潔性
- ・各説明文（目的・方法・結論）及び各図面の良好さ
- ・各文、図、写真等の流れと配列、構成

② 表彰方法：最優秀、優秀、佳作のポスターを平成24年7月26日（木）11時45分よりポスター発表セッション会場において表彰します。

(3) 優秀発表者は、本会ホームページ並びに「下水道協会誌」に掲載致します。また、平成23年7月に開催した第48回下水道研究発表会における表彰者は以下のとおりでした。

(参考) 第48回下水道研究発表会 表彰者（各賞区分毎に氏名の50音順）

区分	発表タイトル	所属	氏名
ポスター発表	最優秀賞	下水道の手話「水処理編」	大阪市 西島 哲史
	優秀賞	調理とコラボレーションした普及啓発活動の実施事例について	愛知水と緑の公社 中岡 優亮
	佳作	バチルス菌優占化曝気槽でのバチルス属細菌による大腸菌の抑制効果	群馬工業高等専門学校 生方明日香
	佳作	ディスポーザー推進特例市の公共下水道終末処理場に及ぼす排水の影響と原単位の測定	群馬工業高等専門学校 高瀬 陽彦
口頭発表	最優秀賞	人工下水の浸漬型嫌気性膜分離法(SAMBR)による連続処理実験	東北大学大学院 高橋慎太郎
	優秀賞	維持管理において長寿命化計画を運用するための基本的な枠組みについて	愛知県 有我 清隆
	優秀賞	印旛沼流域における雨水浸透施設導入による市街地ノンポイント負荷の削減効果	東京大学大学院 金 鎮英
	優秀賞	消化汚泥におけるスケール生成原因調査とスケール抑制のためのリン除去・回収技術	水ing株式会社 黒澤 建樹
	優秀賞	実規模高負荷二点DO制御OD法における生物学的リン除去の年間変動特性	高知大学大学院 田中 一輝
	優秀賞	水処理実験プラントによるN <sub>2</sub> O(一酸化二窒素)発生状況調査	東京都 濱本 亜希
	優秀賞	下水道台帳システムを活用した下水道管の現場情報の管理	東京都 松延 隆志
	優秀賞	海水淡水化使用済み膜の下水処理水再生への適用	福岡市 吉村 雅之

## 9. 申込方法

(1) 下水道研究発表会専用のホームページ (<http://www.gesuikyoku.jp/kenpatu/>) または日本下水道協会ホームページの「下水道研究発表会」バナーからお申し込みください。

(2) 申込書をダウンロードしてください。必要事項をご入力いただき、

**添付ファイルでEメールアドレスkenpatu@gesuikyoku.jpまで送信してください。ファイル名は、「所属団体名\_発表者名(例：〇〇市\_山田太郎)」としてください。**

- (3) ホームページをご覧になれない方は、事務局（TEL. 03-6206-0284、FAX. 03-6206-0796）までご連絡ください。必要な書類をEメールまたはFAXで送信致します。
- (4) **申込期限は、平成24年2月20日（月）です。（締切厳守）**
- (5) 期限を過ぎた申込みはできません。

申込書に記載された個人情報は、本研究発表会以外の目的での利用はいたしません。

なお、本発表会を活性化する手法として、発表論文の概要を、発表会開催前に業界紙に掲載しますので、掲載を望まれない場合は、事前に次の「11. 問合せ先」まで、お知らせください。掲載依頼は、本会から発表者に対して行い、概要に関する原稿は業界紙編集部へ提出していただくことを予定しています。

(ご注意)

- ・ 所定の内容に記入漏れ等がないよう、十分ご確認の上、お申し込みください。
- ・ お申し込み後の「発表題名」と「論文要旨」の変更はできません。
- ・ 受付完了のご案内をEメールでご連絡いたします。必ず保存してください。発表者には「受付番号」を交付し、受付完了メールに記載しますので、保管してください。本論文の申込、研究発表会への参加についてもこの「受付番号」を使用します。
- ・ 1月上旬に研究発表会発表者専用のサイトをオープンします。発表者に必要な情報及び連絡事項を順次掲載致します。このサイトのアドレスは、発表者への受付完了メール内にてお知らせ致します。

## 10. 発表に関わる費用とお支払方法

- (1) 論文・ポスター発表にかかる費用は下記の通りです。(税込み)

会員区分（申込時）	発表料	内 訳	
		発表申込料	参加料
①正会員(地方公共団体、公社等)	14,000円	4,000円	10,000円
②特別会員（個人）	14,000円	4,000円	10,000円
③関係官庁及び同付属研究機関、大学等の教授等	14,000円	4,000円	10,000円
④賛助会員（会社）	18,000円	4,000円	14,000円
⑤学生（③に該当する大学等の教授等の教室に所属している者）	2,000円	1,000円	1,000円
⑥大震災関連のセッションへの発表、大震災関連のポスター発表 （①～⑤の区分に該当する者のみ）	0円	0円	0円
⑦非会員	24,000円	6,000円	18,000円

- (2) (1)の⑥については、正会員、特別会員、関係官庁及び同付属機関、大学等の教授等及びその教室に所属する学生、賛助会員に限り、発表料を無料とします（非会員は有料）。なお、賛助会員については、当該発表は、1会員あたり計2編まで無料ですが、それを超えて発表する場合には、3編目以降は有料となりますので御注意下さい（3編以上のお申し込みをいただく場

合は、あらかじめ、社内で調整の上、「有料」対象の論文と、その発表料の請求先を明示して下さい。

また、大震災関連として応募いただいたものであっても、他のセッションでの発表の方が相応しい内容である口頭発表の場合や、大震災との関連性が少ないポスター発表については、下水道研究発表会プログラム編成委員会で審議の上、他のセッションでの発表をお願いする場合があります。大震災との関連性が少ないものである場合には、有料での発表をお願いすることとなりますので、あらかじめご了承下さい。

- (3) 3月中旬に「発表申込料」の請求書を送付しますので、請求書が到着後1ヵ月以内にお振り込みください。また、「参加料」等の請求は、研究発表会終了後に送付いたします。

ただし、非会員並びに学生の方に関しましては、発表申込料と研究発表会への参加料を併せて請求をさせていただきます（3月中旬に請求書を送付。納付は請求書到着後1ヵ月以内）。

- (4) 請求書の内容変更について

請求書は、原則として発表者ごとに所属団体宛にお送りします。

なお、次の場合は、申込フォームの「請求書の宛名、送付先等が発表者と異なる場合」欄にご入力ください。

- ・請求書の宛名は、「〇〇県」、「〇〇市」、「〇〇会社」、「〇〇大学」等の自治体名、会社名、大学名等でのみ発行しますが、それとは異なる宛名をご希望の場合
- ・複数名を一括してお支払いになる場合
- ・請求書を発表者の住所と異なる場所に送る場合
- ・特別会員の方は、請求先を本人宛、送付致します(代理不可)。

- (5) 「発表申込料」は、お申し込み後に発表を取り消した場合でも事務手数料として発生します。また、発表申込時の会員区分により、「参加料」を請求いたします。仮に、参加申込後、発表者の変更や、発表者の所属の変更が生じ、発表者の会員の区分が変更になった場合でも、申込時の会員区分に応じて、「参加料」を請求させていただきます（例えば、「正会員」区分で参加申込をした後、転職等で所属が変更になり、民間企業（賛助会員）の職員となった場合も、発表申込時の区分「正会員」の金額での請求となります）。

## 11. 問合せ先

(社) 日本下水道協会企画調査部企画研修課 研究発表会係  
〒101-0047

東京都千代田区内神田2丁目10番12号 内神田すいすいビル6階  
TEL (03) 6206-0284 (代) FAX (03) 6206-0796

## 「参 考」

- (1) 発表者への「受付完了メール」で発表に必要な情報を記載した専用サイトのアドレスをお知らせ致します。
- (2) 論文の原稿提出期限は、平成24年4月13日(金)です。(締切絶対厳守)  
なお、査読結果以外の原稿修正は原則としてできませんので、提出前には必ず内容を確認してください。

## 第49回下水道研究発表会

### セッション名一覧

#### ○特定課題セッション（全11セッション）

セッション名	セッション名
1. アセットマネジメント	4. 各種バイオマスの利活用／りん等有用資源の回収
2. 国際協力・海外展開	5. 膜処理技術
3. 集中豪雨対策（Xバンドレーダーの活用等を含む）	6. 化学物質対策（化学物質管理、内分泌かく乱物質、PPCPs、有害物質の流入、病原菌対策など）

（大震災関連）以下の7～11については、非会員以外の発表は発表料を免除

セッション名	キーワード
7. リスクマネジメント	地震・災害時のBCP（事業継続計画）、BCPの実践・効果、被害想定、資器材備蓄、その他
8. 震災対応（応急復旧、段階的復旧）	沈殿処理、簡易な生物処理、溢水の防止、仮設配管、仮設ポンプ、エネルギー確保・節電、マンホールトイレ、段階的な処理水質向上策、その他
9. 震災対応（本復旧、復興計画）	津波対策、耐津波性能、液状化対策、再度災害の防止、復興まちづくりへの下水道の貢献、その他
10. 震災対策（放射能対応）	保管・モニタリング、リスクコミュニケーション、挙動の把握、減容化、その他
11. 震災対応（被災地支援、被災状況の把握）	被災地への支援活動、支援ルール、0次調査、1次調査、2次調査、津波被害、液状化被害、その他

#### ○通常セッション（全12セッション）

セッション名	キーワード
1. 経営・計画	経営、財政、会計方式、法律、制度、広報、広聴、パブリックインボルブメント、事業計画、行政評価、人材育成、長期戦略、改築・更新計画、コスト縮減方策、インターネット利用、その他
2. 雨水対策	水文、治水対策（ハード、ソフト）、雨水流出抑制、分流式下水道の不明水対策、合流式下水道の改善、その他
3. 環境・再生・リサイクル	流域管理、汚濁発生源、モニタリングとその解析、水質汚濁対策、水生生物、処理水再生利用、環境管理、水センサス、PRTTR、排ガス対策、省資源、水の有効利用、汚泥の有効利用、エネルギー利用、その他
4. 地球温暖化／省エネ対策	N <sub>2</sub> O対策、省エネ、LCA、温室効果ガス、低動力化、CO <sub>2</sub> 対策、その他
5. 管路（建設）	管路・ポンプ場・処理場の設計・施工、小規模施設、未普及対策技術（クイックプロジェクト）、貯留施設、機械設備、電気設備、排水設備、監視制御設備、圧力管路システム、風力発電、ヒートポンプ、施設の環境対策、硫化水素対策、その他
6. ポンプ場・処理場施設（建設）	
7. 管路（維持管理）	臭気対策、防食、管更生、バルキング対策、改築改善、事業場排水対策、返流水対策、台帳システム、浸水対策、防藻対策、保守点検、清掃、硫化水素対策、その他
8. ポンプ場・処理場施設（維持管理）	
9. 水処理技術	下水処理、産業排水処理、窒素・りん除去、その他の高度処理、初期対策、消毒、微量化学物質の処理、清掃、その他
10. 汚泥処理技術	汚泥輸送、濃縮、脱水、消化、焼却、熔融、その他
11. 計測・制御	計装装置、監視装置、システム制御、光ファイバー通信、その他
12. 理化学試験と微生物	物理的試験、化学的試験、生物学的試験、その他